

新幹線におけるさらなるセキュリティ向上の取組みについて

新幹線のセキュリティ向上に向け、車内警備の強化に加え、犯罪防止及びさらなる安全確保のための新たな取組みとして、「防犯・護身用具の配備」、「医療器具の配備拡充」、「緊急時における情報共有手段の整備」、「座面脱着容易化」を進めます。

これまで以上に、お客さまに安全かつ安心して新幹線をご利用いただけるよう、引き続きセキュリティの向上に取り組んでいきます。

1 防犯・護身用具の配備【別紙 1】

不審者対応を想定し、防犯・護身用具を全編成（4 編成）に配備します。

(1) 配備内容

①車両への搭載（1 編成あたり 3 箇所）

防護盾（中型、小型）、防刃（ぼうじん）ベスト、防刃手袋、警戒杖（けいかいじょう）

②乗務員の携行

フラッシュライト、催涙スプレー

(2) 配備時期

準備出来次第、順次配備

(3) その他

乗務員に対し、防犯・護身用具の使用方法について本年 11、12 月に教育・訓練を行う予定です。

2 医療器具の配備拡充

全編成について、医師支援器具を 1 編成あたり 1 箇所から 3 箇所に増備するとともに、新たに応急救護品を 1 編成あたり 3 箇所に配備します。

(1) 配備内容

①医師支援器具（増備）

聴診器、血圧計、ペンライト、パルスオキシメーター、アルコールシート、舌圧子（ぜつあつし）、
ゴム手袋

②応急救護品（新規配備）

大判ガーゼ、油紙、包帯、三角巾、医療用テープ、救急絆、救急用ハサミ、人工呼吸用マウスシート

(2) 配備時期

準備出来次第、順次配備

3 緊急時における情報共有手段の整備【別紙2】

乗務員、アテンダント、指令員の情報連携を強化し、新幹線車内の安全確保を図るため、スマートフォン等を用いたグループ通話システムを新たに導入します。

(1) システムの概要

乗務員、アテンダント（グランクラス担当、車内販売担当）、指令員間で、携帯電話の通信網を使用したスマートフォン等を用いてグループ同時通話を行い、関係者間の迅速かつ正確な情報共有や、連携強化を図ります。

(2) 導入時期

準備出来次第、使用開始

(3) その他

乗務員からスマートフォン等を用いて指令員へ画像転送をすると共に、さらなる情報連携強化を目的として、車内防犯カメラ画像の地上送信機能（車両→指令）の検討を行います。

4 新幹線車両の座面脱着容易化

当社の新幹線車両（普通車）の座面は、スライド機構等により座面が取り外しにくい構造であるため、容易に脱着できる構造に変更を進めます。

(1) 整備内容

①対象編成

全編成

②対象部位

普通車車端部の座席1列（1編成中8両）

(2) 改修時期

準備出来次第、順次改修

1 防犯・護身用具の配備(車両搭載、乗務員携行)

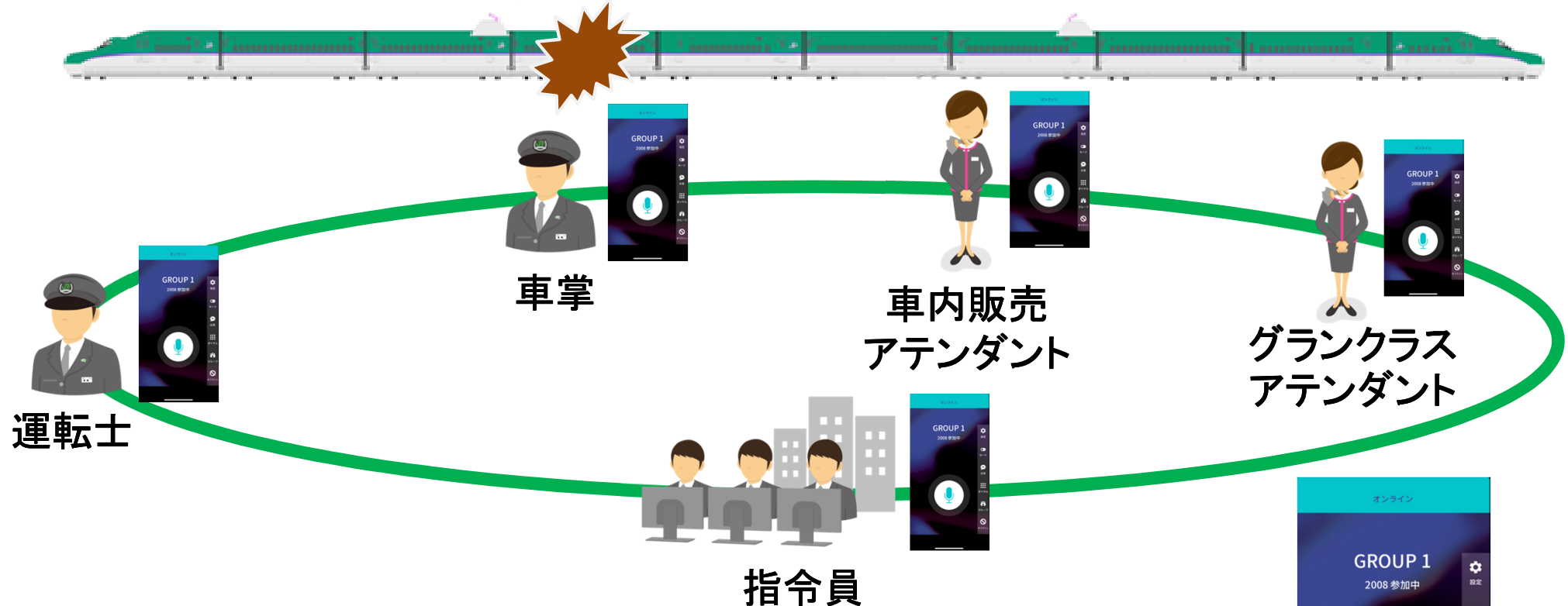
防護盾	防刃ベスト	防刃手袋	警戒杖	フラッシュライト	催涙スプレー
 中型 小型					
車両搭載	車両搭載	車両搭載	車両搭載	乗務員携行	乗務員携行
・暴力行為からの防御	・刃物に対する防御	・刃物に対する防御	・暴漢との距離を確保するために使用	・暴漢に向けて照射し行動を抑制	・暴漢に向けて噴射し行動を抑制

◆新幹線全編成の両運転台と車掌室に配備(1編成あたり3箇所)

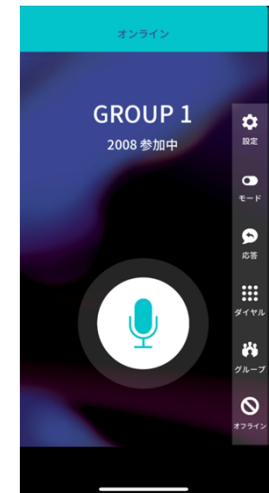
3 緊急時における情報共有手段の整備

(携帯電話の通信網を使用したグループ通話システム)

異常発生！



- ◆専用のアプリを搭載した乗務員・アテンダント・指令室のスマートフォン等を活用し、3名以上で同時に情報共有が可能
- ◆さらなる情報連携の強化に向けて、グループ通話機能に加え、動画送信や通話内容録音など、段階的に機能を拡大



アプリ画像(イメージ)